

### 33 動物の気持ち

場面：動物番組

状況：いたずら好きのラッコのアテレコ

登場人物：A（ラッコの男の子、くるりん）

(BGM)

A：はじめまして。僕はラッコのくるりん。水族館に住んでるよ。お客さんのニンゲンが毎日僕の水槽のところに来ては、見ているんだけど、僕は僕でニゲンを観察しているんだ。だから毎日おおいそがしさ。

食事は一日3回。ニンゲンたちは、僕の食べる様子をずっと見ていて、写真を撮ったり、動画を撮ったりするんだ。僕が石で貝を割るたびに「おー！」って歓声上がるし、もう大人気で困っちゃうね。あ、そうそう。ときどき恥ずかしくなって食欲がわかないときは、夜飼育員さんをお願いしてもう一食、静かに食べさせてもらったりもするんだけど、それもまた楽しいのさ。

そういえば、今朝見に来ていたニンゲンは親子連れで、お父さんが肩車をしながらずっと見ていたなあ。子どもは楽しそうに見てくれていたけど、お父さんは途中からつらそうだった。ほかにもカップルで来ているニンゲンもいたけど、あれは残念だったなあ。ラッコの僕より、二人で楽しんじゃって。ちゃんと僕のことも見てほしかったのに。もってた石で水槽のガラスをコンコン叩いたら驚いてたな。あれはおもしろかった。ラッコは人からかうのが好きな生き物なのかもしれないな。え、僕だけ？いやあ、そうかなあ？

さあて、今日の水族館はもう閉館みたいだし、そろそろ僕も寝ようかな。あ、飼育員さん、さっきの貝、おかわり！